

令和7年度 第66回全国病弱虚弱教育連盟研究協議会青森大会
令和7年度 第65回九州地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会・総会大分大会

夏季休業中に、標記研修会がオンラインで実施され、以下の講演を受けました。

○「子どもの“生きる力”を育む ～代弁のススメ～」

新百合ヶ丘総合病院・発達神経学センター長 高橋 孝雄 氏

○「病弱教育のさらなる充実に向けて」

文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 深草 瑞世 氏

○「特別支援教育の動向と今後の病弱教育に求められるもの」

文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 深草 瑞世 氏

○「こころの発達と自己肯定感に関する理解と支援」

大分大学 教育学部長・教育学研究科長 教授 佐藤 晋治 氏

また、各分科会においては、様々な病弱特別支援学校の取組みの紹介や研究協議等が行われました。本校も、提言校の一つとして、以下のテーマで発表や研究協議を行いました。

○「病弱特別支援学校における子どもの学びを深める ICT 活用の在り方」

～教師の ICT 活用能力の向上と、ICT を活用した学びの工夫～

研究協議テーマ「生成A I の教育活用～事例共有と安全な利用に向けた課題」

他校と情報交換を行ったり、指導助言を受けたりして、これからの時代を生きる子どもたちのため、教師自身が学び続け、ICT を適切に活用できるよう導くことの大切さについて学びを深めることができました。



研修の様子

